



『他者の気持ちを“慮る”ことのできる生徒』の育成

令和6年度がスタートし、3ヶ月が経ちました。4月初旬は、初めて出会った仲間に対して、適度の距離を保ちながら生徒達は過ごしてきました。5月のゴールデンウィークが終了して、学校で再開した仲間達。少しずつ距離が縮まり始め、ゴールデンウィーク前とは違う活気がクラス毎に見受けられるようになりました。そして、運動会練習が始まるとともに、生徒間の距離は更に縮まり、それとともに生徒一人一人の個性が表出し、運動会の練習中には、生徒個々の個性がぶつかり合う場面が至る所で見受けられました。しかし、運動会の終了とともに、ぶつかり合っていた生徒個々の個性は調和の方向へと向かい、一定期間は落ち着いた学校生活を送ることができるようになります。ですが、行事が終わって数週間が経つと、共鳴し合っていた集合体としての個性は分散し始め、生徒達は4月に会った仲間の印象と、運動会後の印象を比較し、一人一人の個性の分析を行います。そこで「思っていたよりいいやつじゃん」「なんとなく気が合いそうだな」と肯定的に受け止められる仲間と、「なんか最初の印象と違うなあ」「気が合いそうにないなあ」といった、ある意味否定的な印象をもつ仲間に分類されていきます。こういった感情は誰にでも芽生えるもので決して悪いことではありません。

さて、ここからは一般論ですが、否定的な印象をもった仲間に対して、自分自身の価値観をぶつけ、それに共鳴してくれない仲間に対する取捨選択が始まるのが大いにして起こりえます。つまり仲間達を自分自身の価値観で「合う者」と「合わない者」に分ける作業です。その後、価値観の合う仲間達は徒党を組み始め、価値観の合わない仲間達への攻撃を始めます。スマートフォンが普及する前の時代は、校内や校外で目に見える対立が勃発し、その沈黙化に教員は奔走しました。しかし、スマートフォンが普及した現代では、価値観の合わない仲間への攻撃がSNS上で行われるようになりました。それも、複数に参加するグループライン上で行われることもあり、始末が悪く対応に苦慮します。挙句の果てに、投稿された人物の悪い情報を見たグループライン上の仲間の中には、その情報を鵜呑みにして、自分自身はその投稿された人物への接触が一斉ないにもかかわらず、投稿された人物を「悪い奴」と勝手にとらえて、さらに他の仲間へと投稿を拡散していきいます。これにより何の根拠もない中で、投稿された人物の「悪いイメージ」が増幅され、その人物に対する「誹謗中傷」が始まります。自分の投稿がグループライン上で複数の仲間から「称賛（イイネ）」されると、投稿者はさらに共感や評価を得ようとする承認欲求が高まり、新たな投稿を繰り返します。ある意味優越感に浸っていきいます。しかし、ある時その投稿が炎上し、第三者から投稿者への非難が始まると、それまで投稿者を称賛していた仲間たちは突如姿を消し、二度とSNS上に姿を現すことはありません。

インターネットは匿名で様々な行為をすることが可能です。そのため子どもたちはインターネット上で、実際の生活では行わないような、好ましくない行為や、場合によっては法に触れる行為を行ってしまうことがあります。その結果、「ネットいじめ」などの人間関係上のトラブルや、ネット上での誹謗中傷やネット炎上などの犯罪につながる行為に発展することも珍しくありません。特にインターネットの拡散性に留意が必要です。インターネットの投稿は、一度発信されると瞬時に広がり、削除することができないので「デジタルタトゥー」と呼ばれています。SNSや動画共有アプリのコメント欄などは、匿名で書き込めるため、躊躇なくひどい誹謗中傷が行われることがあります。さらに多くの人が目にするため、拡散性が高く、炎上状態になり、個人が特定されることも珍しくありません。その場合には、子どもの将来に深刻な影響を及ぼすことも起こりえます。インターネット問題は、起きてしまうと完全な解決は難しく、情報が瞬時に拡散されしまうため、特に充実した未然防止体制の構築が求められます。

子ども達の多様化が進み、様々な困難を抱える児童生徒が増える中、学校教育には、子どもの発達や教育ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限に伸ばしていく教育が求められています。こうした中で行われる生徒指導は、一人一人が抱える個別の困難や課題に向き合い「個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達」に資する重要な役割を有しています。生徒指導上の課題が深刻になる中、何よりも子どもたちの命を守る事が重要であり、全ての子ども達に対して、学校が安心して楽しく通える魅力ある環境となるよう学校関係者が一丸となって取り組まなければなりません。その際、事案に応じて、学校だけでなく、家庭や専門性のある関係機関、地域などの協力を得ながら、社会全体で子どもたちの成長・発達に向け包括的に支援していくことが必要となります。生徒指導は、「児童生徒が社会の中で自分らしく生きることが出来る存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動」です。ですから、教職員は生徒指導上の課題に対応するため、必要に応じて指導や援助を行っています。

本校の「目指す子ども像」は「他者の気持ちを慮ることのできる生徒」の育成です。SNS上に発信しようとしている内容について、発信する前に今一度「自分自身が発信しようとしている内容が、他者から自分に発信されたら、どんな気持ちになるだろう？」と考えてみてください。「慮る」とは「相手のことをよくよく考える」と言う意味があります。

7月行事予定表 (家庭配布・教室掲示用)

日	曜	行事 (授業日数15日)	会議・生徒会・その他	時程	学習室	給食	8月行事予定			給食
							日	曜	行 事	
1	月	朝礼 安				○	1	木	机・イス搬入のため教室への出入り不可	
2	火					○	2	金	机・イス搬入のため教室への出入り不可	
3	水					○	3	土		
4	木					○	4	日		
5	金	避				○	5	月	図書館開室9:30~13:30	
6	土						6	火	図書館開室9:30~13:30	
7	日						7	水	図書館開室9:30~13:30	
8	月	学年朝礼				○	8	木	図書館開室9:30~13:30	
9	火	職場体験(2)				△	9	金	図書館開室9:30~13:30	
10	水	職場体験(2)職				△	10	土		
11	木	職場体験(2) I組食堂				△	11	日	山の日	
12	金	専門中央委員会		★		○	12	月	振替休業日	
13	土	土曜授業 進路説明会 修学旅行説明会(3)				×	13	火	教育活動休止	
14	日						14	水	教育活動休止	
15	月	海の日					15	木	教育活動休止	
16	火	生徒朝礼				○	16	金	教育活動休止	
17	水					○	17	土		
18	木	大掃除				○	18	日		
19	金	全校集会 安				○	19	月	図書館開室9:30~13:30	
20	土						20	火	図書館開室9:30~13:30	
21	日	夏季休業日					21	水	図書館開室9:30~13:30	
22	月	AM補充学習 PM三者面談					22	木	図書館開室9:30~13:30	
23	火	AM補充学習 PM三者面談					23	金	図書館開室9:30~13:30	
24	水	AM補充学習 PM三者面談					24	土		
25	木	AM補充学習 PM三者面談					25	日		
26	金	AM補充学習 PM三者面談					26	月	図書館開室9:30~13:30	
27	土						27	火	図書館開室9:30~13:30	
28	日						28	水	図書館開室9:30~13:30	
29	月	図書館開放9:45~16:15					29	木	図書館開室9:30~13:30	
30	火	図書館開放9:45~16:15					30	金	図書館開室9:30~13:30	
31	水	机・イス搬入のため教室への出入り不可					31	土		

備考
9月2日(月)全校集会